

1804 南海トラフ巨大地震の予測高度化を目指したフィリピン海スラブ周辺域の構造研究

担当者 澁谷拓郎 (shibutani.takuo.4r@kyoto-u.ac.jp)

・実施機関（代表機関）名

京都大学防災研究所

・研究目的

紀伊半島～四国～南九州の下に沈み込むフィリピン海プレートとその周辺の構造をレシーバ関数解析や地震波走時トモグラフィなどの地震学的手法により高精度に推定する。得られた構造をもとに、南海トラフ巨大地震の発生場であるプレート境界面やフィリピン海スラブ周辺の物性や状態を明らかにする。加えて、地震発生や強震動のシミュレーションに資する地震波速度構造モデルの開発を目指す。